

NGOジョイセフ様の電子機器回収が本格稼働！

3月と4月にジョイセフ様に集まったIT/モバイル機器を引き取りに伺いました。

公益財団法人ジョイセフ様は女性のいのちと健康を守るために活動している国際協力 NGO です。リーテックは NGO ジョイセフ様が集められた電子機器を引き取り、データが含まれている IT/ モバイル機器を適切にデータ処理（物理破壊）し、再資源化した利益を還元、女性の支援活動の資金として活用していただくお手伝いをしています。今回は、3月と4月に1回ずつ引き取りを行いました。ご担当者様の立ち会いのもと、機器が引き渡され、リーテックの自社便にてその日のうちに処理をする東京 RSC センターへ運ばれました。運ばれた機器は点検され、数量等をきちんと確認した上で破砕処理いたします。各作業工程ごとに「受領証明書」「査定報告書」「破砕作業完了証明書」などの証明書をご提出いたしますので、その内容をご確認いただきながら丁寧に進めています。



資源の
再利用により
世界の母子の
支援に繋がります。



公益財団法人ジョイセフ様は他にも様々なものを回収し、支援に繋げています。

62 円ハガキ 43 枚

もしくは

使用済み切手約 2kg

集めると・・・

たとえば、

ザンビアで

1人の女性が助産婦の立ち会いのもとに
施設で安全に出産をすることができます。



詳しい内容につきましては、ぜひジョイセフ様の HP よりご覧ください。

文京学院大学「まちラボ プロジェクト」スタート。

今年度は 12 名の学生がリーテックと一緒にリサイクルの啓発活動をすることを希望しています。

4月11日より文京学院大学3年生のカリキュラムである「まちラボプロジェクト」がスタートしました。昨年は、8名の学生と一緒に金属リサイクルの啓発に取り組んでくれましたが、今年はそれを上回る12名の学生がリーテックとの活動に興味を持ってくれました。すでに学生からは大学内に常設の回収ボックスを置きたい、携帯電話だけでなく、ゲーム機やそのほかの電子機器の回収の可能性など、チームメンバーと協力しながら企画を検討してくれています。金属のリサイクルについて考えるだけでなく、チームで企画を考えたり、リーダーを中心にプロジェクトを進めていくという組織力についても学んでもらうため、今年度は学生主体で企画を進めていく予定です。また、本社でのプレゼン発表やセンターの見学・体験会の実施も計画しますので、その際は関係部署の皆さま、ご協力のほど宜しくお願いします。

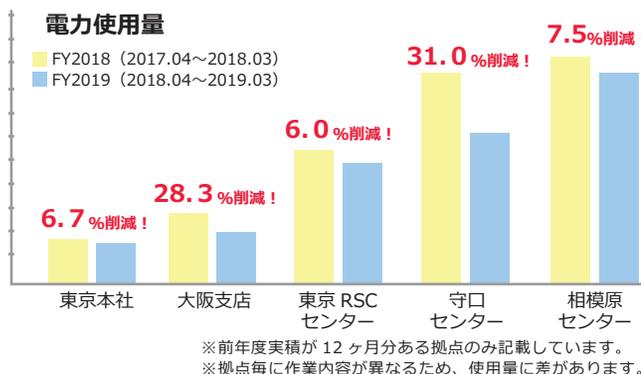


文京学院大学本郷キャンパス内に、まちラボ（まちづくり研究センター）がオープン。ここで授業やイベントを行います。

電力および紙の使用量 前年比5%削減 チャレンジ！

前年度の実績より電力と紙の使用量を5%削減するため、リーテックでは色々な取り組みを行いました。

リーテックはリバースサプライチェーンマネジメントによって、法人様の不要となったIT/モバイル機器を再利用・再資源化することで廃棄量を削減し、製品を生産するために使用される資源の削減に繋がっていますが、事業のみならず、オフィスにおいても省資源・省エネルギーの取り組みを行なっています。リーテックでは前年度の電力および紙の使用量を5%削減するという目標を掲げています。各拠点毎にアイデアを出し合い、自分たちができることから少しずつ改善し、電力量や紙使用量の削減を目指します。

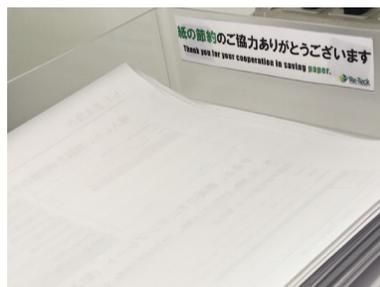


実際に拠点で行なっている電力量・紙使用量削減の取り組みをご紹介します。



執務スペースでも仕事に支障が出ない位置の蛍光灯を間引き！

目立つところにステッカーを貼って、節約を意識づける！



社内共有用の資料や、印刷確認が必要な内容は裏紙に印刷！

送風、温度管理をしっかり行い、作業効率を下げずに省エネ！



こんな啓発ステッカーを作ってほしい！という希望がありましたら CSR 小野までご連絡ください。

学び塾 第2弾 「行動規範、社内ビジネスマナー（迷惑行為防止）」研修 みんなが気持ちよく働くために、自分の行動を改めて確認しましょう！

第2回目の学び塾は3月20日に東京 RSC センターと4月5日に守口センターにて行いました。受講は全拠点にスカイプをつなぎ、希望者のみの参加としています。今回の講義では、改めてリーテック行動規範を読み返し、同じ職場で働くメンバーがどうしたら気持ちよく働けるかなど、みんなで意見も出し合いました。働きやすい職場の定義は人によって違います。その違いをお互いに理解し、思いやり、コミュニケーションを取ることで職場環境は変わります。学び塾をきっかけに、各拠点で働きやすい職場環境づくりを意識し、改善する良い機会となりました。



講師：松島さん / 人事総務部

編集後記



今回、冒頭に記載しておりますが、NGO ジョイセフ様との電子機器回収の取り組みについて、チラシを作成していただきました。破碎処理協力企業としてリーテックの名前も記載されております。私は大学で途上国支援について主に学んでいましたので、こうして途上国の母子の支援に繋がる取り組みができることがとても嬉しいです。こうした取り組みをこれからも広げていきたいと思っています。 CSR 小野 真菜